

事業区分	文化芸術事業		育成創造事業				
事業名	とつとりの芸術宅配便事業		助成	文化庁			
目的・内容	年間を通じて、県内の小・中学校、特別支援学校、公民館等に県内の文化活動者を講師として派遣し、ワークショップ、コンサート等を実施する。多感な時期の子ども達に文化芸術活動を体験させることで、子どもの健全な育成と将来の文化芸術活動の担い手、観客となる人々の育成、或いは心の健康の向上を図る。「改革のための基本方針」【使命】の「文化芸術活動の発信と交流」「文化人口の拡大とレベルアップ」「多彩な人材育成とキャリア開発」「子どもの文化芸術活動の推進」、【事業計画の柱】の「学校との連携事業をはじめとする子どもや青少年の						
開催日時	平成20年6月～平成21年2月						
会場	県内小中学校、特別支援学校、公民館等						
入場料・参加費	無料						
集客状況	総体験者数	8,264名	設定席数	—			
事業費状況	予算額	収入	0円	支出	5,797,000円	収支比率	0%
	決算額	収入	1,057,000円	支出	3,179,669円	収支比率	33%
来場者アンケート (主なもの)	<p>〔児童・生徒〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな声だなと見とれてしまいました。 ・演奏を生で聞くのは初めてなので、今日の演奏は大切な思い出にしたいです。 ・文化祭があるので、参考にしようと思いました。 ・途中からノリノリになって、今を楽しもうと必死でした。 ・僕たちはもうすぐ卒業ですが、これからの子に見せてあげてください。 <p>〔先生〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふだんあまり聞く機会のないクラシック音楽に親しめ嬉しく思いました。 ・体育館の隅々に響き渡る美しい歌声に感動してしまいました。 ・バラエティに富んだプログラムで、楽しい時間を全校で過ごせた。 ・生徒の心の成長に役立ったと思います。 ・子ども達は初めての体験でしたが、達成感を味わうことができたと思います。 ・笑顔が多く、やってみたいと手を上げる子があったことを嬉しく思いました。 						
1次評価 (内部)	<p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は6年目であるが、実施校等から好評を得ており、当年度は60回の実施となった。ただし、前年対比では、25回減となった。 ・生徒数130名以下の小学校からの希望が多かった(全60回のうち37回)。市内中心部より郊外の学校において、芸術体験の機会が少ないという面を、本事業がその補完に役割となっていると思われる。 ・ジャンルによって希望数の差異が著しいが、主にミュージカルやヒップホップダンス、和太鼓など体験型にニーズがある様である。 ・事業開始年から6年継続の申込が7件、5年連続が7件、新規申込が8件あり、定着と広がりを得つつある。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未実施学校への実施推進(過去3年間の未実施率・・・小学校39.9%、中学校81.5%、特別支援学校0%) 						
2次評価 (財団評議員)	<p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の良さは伝わってくる。容易に鑑賞できる料金設定も良かったと思う。若い層の愛好者の育成に繋がったと思う。 ・学校の要望に応じて芸術活動の技術指導を行う専門家を派遣する事業とすれば、(対応可能なジャンルが限定的なこと以外は)、現状の目標、内容、運営とも必要十分と思われる。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化人口をつなげるためには、次の仕掛け、専門的なアドバイスが出来るコーディネーターが必要。 ・学校と講師の間をつなぎ、より効果的な体験事業を展開していくためには、学校における芸術教育の課題、子どもの芸術体験の手法と思想に精通したコーディネーターの育成が求められる。 ・5年を経て見直しは必要。未実施校へのアドバイス等が行なえる専門性。 						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も未実施の学校にも積極的に働きかけ、教育委員会との連携の強化を図る。 ・プログラムに関して、学校の希望内容を聞くだけや、講師にお任せではなく、財団としても質の担保の調整ができるスキルを身に付ける。 						